

平成30年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

- 1 開催日時 平成30年10月19日(金) 13:30～
- 2 開催場所 青森市役所 第3庁舎1階 会議室
- 3 対象施設 青森市三内霊園・月見野霊園・八甲田霊園・浪岡墓園
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 横内 修(企画部理事次長事務取扱)
副委員長 山谷 直大(総務部理事次長事務取扱)
委員 池田 享誉(青森公立大学准教授)
委員 古川 司(東北税理士会青森支部税理士)
委員 岡山 幸司(都市整備部次長)
委員 佐々木 淳(教育委員会事務局理事次長事務取扱)
 - (2) 施設所管課(生活安心課) 課長 小倉 信三
主幹 渡邊 俊和
主査 伊澤 晋治
(浪岡事務所市民課) 課長 石村 淳
 - (3) 制度所管課(企画調整課) 主幹 高野 新
主査 吉田 敏和
主査 小笠原 誉史
- 5 欠席者
選定評価委員 委員 荒内 隆浩(福祉部次長)
- 6 案件 「指定管理者候補者選定」に係る審査
- 7 会議概要 応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、指定管理者候補者の選定を行った。

○審査結果

- ①指定管理者候補者
なし

②理由

- ・最低得点（79点）に対して、応募団体の得点がこれに満たなかったため。

8 主な質疑内容

- (委員) 樹木管理と除雪については、自社の見積書が添付されている。収支予算書に記載されている金額と違う。これは、自社でやるので、自社努力で経費を縮減できるということか。
- (応募団体) 予算の上限が設定されていることから、自社努力で縮減したい。
- (委員) 除雪について、重機はリースかレンタルで考えているのか。
- (応募団体) 当社では所有していない。霊園に除雪機があるものと考えていた。
- (委員) 仕様書では、緊急修繕として30万円、その他修繕として10万円の範囲で修繕を行うこととなっているが、収支予算書には修繕費として10万円しか計上されていないのはなぜか。
- (応募団体) まだ修繕計画を立てられていないが、計上した予算の中で対応したい。
- (委員) 青森市斎場を管理運営していると記載あるが、これはどういう意味か。
- (応募団体) 平成20年から親会社が斎場の特別清掃を行っており、平成26年からは当社が行っているという意味である。
- (委員) 管理運営ではなく、業務委託を受けているという意味か。
- (応募団体) そのとおり。
- (委員) 同種の管理運営実績についても同じ意味か。
- (応募団体) そのとおり。
- (委員) 研修について月例研修は具体的にどのようなものを想定しているのか。
- (応募団体) 月に一度、各管理事務所のマネージャーが三内霊園に集まり、研修を実施し、各マネージャーは各管理事務所に戻って職員に研修を行う。内容としては、心身のケアに関すること、お墓の専門用語などについて研修を行いたいと考えている。
- (委員) 比較的大きいトイレのあり方や合葬墓について学ぶとあるが、学んだことをどのように市民サービスへ反映させていくのか。
- (応募団体) 現在のトイレはほとんどが溜め式である。維持管理をしていく上でトイレのあり方を勉強していきたいと考えている。また、合葬墓については、市が整備を進めているようなので、知識を深めておきたいと考えている。
- (委員) 仕様書の施設管理にある草刈についてはどのように考えているのか。
- (応募団体) 職員が恒常的に実施できる部分と委託により対応する部分を分けて考える必要がある。委託の際は、自社に委託することとなる。
- (委員) 研修について予算を計上していないが、自社に講師等がいるのか。
- (応募団体) 講師を呼ばず、お互いに学びあうという方式を考えている。

- (委員) 霊園の管理上、必要な資格はあるのか。
- (施設所管課) 高所作業車の操作など、あったほうがよい資格はある。
- (委員) 事業計画書について、仕様書と合わない部分はあるのか。
- (施設所管課) 給水施設の点検については年 6 回としているが、見積書は 3 回。
- (委員) 浪岡に管理事務所があるのか。
- (施設所管課) ない。必要ときに他の霊園の職員が作業に行っている。
- (委員) 提案額は基準額を 3 千円だけ下回る金額で応募している。
緊急修繕で 30 万円をやろうとすると予算が足りなくなる。また、見積と
予算書の金額が違う件について、自分たちで何とかやるという話だった
が、それだと見積書を提出させる意味がない。除雪等について考えると、
完全にオーバーしている。これは問題ないのか。
- (委員) あくまで見積書は参考である、収支予算書を見ることになる。予算の範
囲内で仕様書に書かれていることはやってもらうことになる。